



あつまれ かりやっ子

応募はこちらから
簡単にできます！



▲申込フォーム



ろう者スポーツの最高峰 デフリンピック出場！



さかたしょうご
坂田翔悟さん(22)
(泉田町)

デフリンピックとは？

「聴覚障害をもつアスリートが集まる世界最高峰の大会。ろう者にとって最も大きなアピールの舞台」と力強く話す坂田さん。ろう者自身が運営するろう者のための国際スポーツ大会で、今年の5月にブラジルで行われた第24回夏季大会に、坂田さんは陸上100mを始め、4つの競技に出場しました。

初の大舞台

昨年9月の大会で100mの自己ベストを出し、日本代表に選出。選ばれてほっとしたという気持ちと同時に、日本を背負うという覚悟が芽生えました。

「初めての国際大会。自分の力を出し切れるように気楽に臨んだ」と大会を振り返ります。100mでは1次、2次予選を突破し、準決勝に進みました。準決勝では僅差で決勝に進むことはできませんでしたが、「悔しかったというよりも、初めてでここまで自分の力が通用することが分かってうれしかった。この結果を次につなげることができれば」と先を見据えました。

海外の選手にも負けないように

「海外の選手と試合をして感じたことは体格差。自分も負けられないような体づくりをしていきたい」と、現在

はウエイトトレーニングにも力を入れて、練習に励んでいます。

今後の目標は、来年3月にポーランドで行われる世界デフ室内陸上競技選手権大会に出場すること。さらに、「2025年のデフリンピックは東京への招致が大詰めとなっており、今後も日本代表に選ばれるように、自分の記録を伸ばしていきたい」と意気込みました。世界を相手に挑戦を続ける坂田さんに注目です。



©JDA